

ISBD-JSMD 若手・中堅フェローシップのご案内

Update 2025.06.02

この度、国際双極症学会が初めて日本で開催されることになりました。日本では情報が得られにくい、双極症研究の全貌を把握する貴重な機会となるほか、今回は ISBD 治療ガイドライン改定版公開といった最新の双極症の治療、当事者の基調講演など、臨床や教育プログラムも充実しております。

しかしながら、その登録料は国際標準の価格のため、日本の方には少々ハードルが高く感じられるかも知れません。

例) 日本居住者の申し込みの場合 単位(円) (2025 年6月2日のレートでおよその計算)

	通常申し込み 2025年6月3日～9月1日	直前申し込み 2025年9月2日～当日
ISBD 会員	132,000	145,000
ISBD 非会員	151,000	165,600
学生/レジデント/研修生/ポスドク	42,100	56,400
早期キャリア	78,500	92,800
中堅キャリア	107,000	121,000
発表者	82,100	82,100
双極症当事者・家族等	42,100	56,400

(詳細は、ISBD ホームページ参照:<https://www.isbd.org/Registration>)

そこで、日本うつ病学会(JSMD)と国際双極性症学会(ISBD)は日本の若手・中堅の育成のために ISBD2025 参加のためのフェローシップをもうけました。若手から中堅の研究者・臨床医のほか、多職種、当事者関係者と幅広く募集いたします。

【概要】

- 日本人の双極症のほか、うつ病等の気分障害に関する国際的な研究や教育への参画を促進するため、国際双極性症学会(ISBD)と日本うつ病学会(JSMD)は、JSMD 会員を対象に、第 27 回 ISBD 年次大会への参加を支援するフェローシップです。
- フェローシップは ISBD と JSMD が共同で授与し、**大会出席のための参加登録料を免除します**。その他、旅費支援等は提供されません。
- 審査は申告書に基づいて行われます。申請手続きは日本語です。
- 選考プロセスは、JSMD の主要メンバーと ISBD 2025 年次大会委員会のメンバーが共同で担当します。

【募集期間】

～2025 年 6 月 30 日

【応募人数】 60 名**【応募資格】**

1. 日本うつ病学会会員であるか、入会申請中であること(必須)
2. 職種(医師、看護師、薬剤師、心理師、他の精神関連の専門職)、当事者、ケアパートナー(当事者家族、それに相当する者)、当事者支援団代職員
3. 双極症のほか、うつ病等の気分障害に関する研究、臨床、教育、保健、啓発等の活動がある(A または B)
 - A) 研究:双極症のほか、うつ病等の気分障害の研究をしているあるいは今後研究を行う予定の方
 - B) 臨床・教育・保健・啓発などの活動されている方: 双極症のほか、うつ病等の気分障害に関して積極的に関与している方。例:双極症の診療に積極的に関わっている、医学部や看護学部などの学生・若手医師やコメディカルに対して双極症のほか、うつ病等の気分障害について教育・指導を積極的に行っている、双極症関連の自助グループ、家族会などで活動している、双極症のほか、うつ病等の気分障害に関する普及啓発の活動をしている当事者および当事者団体、本の出版、web サイト作成等。
4. 双極症のほか、うつ病等の気分障害に関する研究や関わっていく目標、および ISBD 2025 年次総会への出席により今後の研究、臨床、教育、保健、啓発等の活動にどのように活かしたいかを説明する表明文(600 字以内)

※ISBD2025 発表予定の方は特に優遇選抜されます(ポスター、口演いずれでも可)

※ISBD 会員あるいは会員に会員予定者は優遇選抜されます(このフェローシップの申請前に ISBD 入会申請をしている必要があります)

【申請方法】

以下の Google form より申し込みください。

<https://forms.gle/wz6AqNXLNTmnosge8>

【結果の通知】

当選者には、ISBD2025 運営事務局よりメールにて通知いたします。

多くの方のご応募をお待ちしております。